

令和元年7月吉日

一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会 御中

日報ビジネス(株)
〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
カセンビル
TEL06-6262-2406/FAX06-6262-2090
URL <http://www.nippo.co.jp/>
セミナー事務局

廃棄物・環境セミナーウィーク 2019in 関西 チラシ送付の件

平素は弊社出版事業に格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。
早速ではございますが、9月度開催「廃棄物・環境セミナーウィーク 2019in 関西」のチラシをお送りさせていただきます。

会員各位の研修事業にも役立てていただけるものと存じます。

周知ご協力、またご参加ご検討のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

2019年9月11日(水)～13日(金) 開催

「廃棄物・環境セミナーウィーク 2019in 関西」

全6セミナーを開催!

- 【A】今さら聞けない! 廃棄物処理法の基礎知識から最新動向まで
- 【B】2020年以降どうなる? 廃棄物減少時代の事業展望
- 【C】廃プラの輸出規制と処理のこれから
- 【D】新時代の金属リサイクル
- 【E】持続可能な木質バイオマス発電事業
- 【F】多様な価値生む“バイオガス化事業”

・『廃棄物・環境セミナーウィーク 2017in 関西』チラシ 50部

廃棄物・環境セミナーウィーク2019

2019年 9/11(水)~13(金)

in 関西



会場 大阪産業創造館 6階 会議室E (大阪市中央区本町1-4-5)

定員 各80名 (※定員になり次第締め切り)

聴講料 1セミナー 10,000円 (資料代・税込)

日付	時間	
	午前 10:00~12:45	午後 13:30~16:15
11日 (水)	A 『今さら聞けない! 廃棄物処理法の基礎知識から最新動向まで』	B 『2020年以降どうなる? 廃棄物減少時代の事業展望』
12日 (木)	C 『廃プラの輸出規制と処理のこれから』	D 『新時代の金属リサイクル』 ～雑品・太陽光パネル・電池～
13日 (金)	E 『持続可能な木質バイオマス発電事業』	F 『多様な価値生む“バイオガス化事業”』

- 8月28日(水)までの早期申込なら1セミナー8,000円になります
- お一人で2セミナー以上の複数申込、あるいは1社から2名以上の複数申込の場合は、9月4日(水)までの事前申込の期間中、1セミナーにつき8,000円になります(ただし同時申込に限る)



※セミナータイトルや講演内容は7月29日現在の予定です。変更になる場合があります。

A
9/11
10:00~
12:45

今さら聞けない! 廃棄物処理法の基礎知識から最新動向まで ～違反事例と罰則・実務・資源循環～

廃棄物を取り巻く問題は近年複雑化する一方で、社会からは法令順守が厳しく求められており、排出事業者・処理業者にとってのリスクは、ますます高まっています。このセミナーでは、昨年改正法が施行された廃棄物処理法の基礎から適正処理の実務に必要な知識までを分かりやすく徹底解説。違反事例と罰則、実務のポイント、資源循環に関する最新動向も紹介します。

〈主なテーマ〉

- ・改正廃棄物処理法の政省令内容とその運用
- ・処理事業者・排出事業者の実務に役立つポイント解説
- ・近年の違反事例と罰則について
- ・廃棄物処理をめぐる最新動向



佐藤泉法律事務所 弁護士 佐藤 泉氏

【環境関連法を主な専門とし、特に企業の廃棄物処理法、土壌汚染対策法に関連したコンプライアンス体制の構築、紛争の予防及び解決で名高い。第一東京弁護士会の環境保全委員会委員、東京都廃棄物審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員等の役職に数多く就任。主な著書には、「廃棄物処理法重点整理—弁護士の視点からみる定義・区分と排出事業者」などがある。】

B
9/11
13:30~
16:15

2020年以降どうなる? 廃棄物減少時代の事業展望 ～マネジメント、労務トラブル～

老朽化した建物の解体・改修工事が続き、廃棄物の発生量が急増する一方、人口減少などの影響もあり将来的には廃棄物は減っていくと言われています。当セミナーでは、産廃発生状況を占うとともに、一歩先を行く新たなマネジメントをテーマに、急増する労務トラブルにも触れ、攻めの経営のヒントとなる情報を発信していきます。



■講演 1「解体工事に伴う廃棄物の発生予測とその処理」(仮)
(公社)全国解体工事業団体連合会
専務理事 出野 政雄氏



■講演 3「労務トラブルの未然防止と具体的取り組み
～ウチは大丈夫だと思っていま
せんか? そんな会社が一番危ない
～」(仮)
中小企業サポートセンター
代表 特定社労士
宮本 宗浩氏



■講演 2「廃棄物処理業界で
一歩先を行くための新事業」
日報ビジネス(株) 編集部
桑田 英俊

C
9/12
10:00~
12:45

廃プラの輸出規制と処理のこれから ～国内回帰と回収リサイクルの在り方～

海洋プラ問題が深刻化する昨今、日本の輸出プラの基準が厳しくなると予測されています。輸出分(2018年101万t)は、どうなるのか。EU(欧州)でもプラ製品の使い捨てができなくなり、9割の回収目標が定められました。日本でも、再生ペレット生産が増加しています。バーゼル条約の規制内容、新しい時代の国際資源循環の事例を紹介します。



■事例1
「廃プラの国際循環から
国内リサイクルへの転換」
亜星商事(株)
代表取締役 山下 強氏

■事例2
「廃プラの固形燃料利用
～拡大に向けての取り組み～」(仮)
一般社団法人日本RPF工業会
事務局長 石谷 吉昭氏



■報告
「廃プラ問題の解決への糸口
～回収と再生処理で海洋プラ削減」
日報ビジネス(株) 編集部
渋谷 和義

■基調講演
環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課
倉田 大輝氏

E
9/13
10:00~
12:45

持続可能な木質バイオマス発電事業 ～小規模熱電併給から焼却灰のリサイクルまで～

FIT施行から約7年が経過。木質バイオマス発電所の計画数は全国で約130カ所に上り、すでに80カ所以上で運転を始めています。昨今は熱利用も兼ねた熱電併給事業や、全国で発生する焼却灰の処理に注目が集まっています。各分野の最新動向から事業性、FIT終了後も持続可能な木質バイオマス利用等、課題解決のヒントとなる事例を紹介します。



■基調講演
「持続可能な木質バイオマス
利用と展望」(仮)
(株)バイオマスアグリゲーション
代表取締役 久木 裕氏



■事例1「地域資源を活かした
熱電併給システム」(仮)
シン・エナジー(株)
代表取締役社長 乾 正博氏

■事例2「全国のあらゆる焼却
灰を適正処理」(仮)
関西クリアセンター(株)
専務取締役 伊山 雄太氏

D
9/12
13:30~
16:15

新時代の金属リサイクル ～雑品・太陽光パネル・電池～

近年の金属リサイクル分野では、雑品スクラップの規制強化と中国の廃棄物貿易規制、これに伴うスクラップヤードでの電池による火災、新たな処理品目としての太陽光パネルの出現——など、新たな課題が頻出しています。本セミナーでは、雑品スクラップにまつわる法改正の内容や、処理の実例などを交え、金属リサイクルの最新動向を紹介します。



■基調講演
環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課
倉田 大輝氏

■雑品事例「リサイクル技術の
高度化」(仮)
(株)アピツ 営業部
課長 田畑 誠氏



■太陽光パネル事例
(株)浜田 オペレーションセンター
主任 東野 陽介氏

■電池事例
日本リサイクルセンター(株)
代表取締役 増田 耕一氏

F
9/13
13:30~
16:15

多様な価値生む“バイオガス化事業” ～最新動向から今後の展望まで～

「バイオガス化」は今、畜産廃棄物や食品残さなど、幅広いバイオマスをエネルギー化でき、さらに液肥提供など地域に密着した付加価値の高い事業を展開できる手法だとして高い注目を集めています。そこで今回は、同事業の最前線で活躍する講師を招き、現況とともに、実際に事業を展開する中で見えてくるノウハウや課題点などについて解説していただきます。



■基調講演「小規模普及型バイオ
ガス発電システムの可能性
と今後の展望」
豊橋技術科学大学 応用化学・
生命工学系 特任准教授
熱田 洋一氏

■事例紹介「バイオメタンガス発
電所竣工で地域循環システ
ム構築へ」(仮)
トーヨーグループ ご担当者



■事例紹介「地方創生・地産地
消を叶える“バイオガス発電
プロジェクト”」(仮)
アーキアエナジー(株)
代表取締役社長 植田 徹也氏

お申込みはFAXで・・・06-6262-2090

フリガナ 会社名				事務局欄
申込者名		所属		
連絡先 住所	〒		—	
	TEL:			FAX:
	MAIL:			

(今後、Eメールでのご案内を希望される方)

■業 種 (該当するところに○) ※講師、当事務局のご参考とさせていただきますのでご記入ください

□1. 環境機器・機材メーカー □2. プラントメーカー □3. 製造業・販売 □4. 商社・ディーラー □5. 流通業 □6. 医療機関
 □7. ホテル・飲食業・外食産業等サービス業 □8. 建設業 □9. 住宅・不動産業 □10. 解体工事業 □11. 一般廃棄物処理業
 □12. 資源回収業(廃プラ) □13. 資源回収業(その他) □14. 産廃収集運搬業 □15. 産廃中間処理業 □16. 産廃最終処分業
 □17. 新工ネ・省工ネ関連業 □18. 学識者 □19. 一般市民・学生等 □20. 中央官庁・地方公共団体
 □21. 関係諸団体 □22. 調査・情報機関 □23. その他 ()

<p>■セミナー番号とタイトル</p> <p>9月11日(水)開催</p> <p>【A】今さら聞けない! 廃棄物処理法の基礎知識から最新動向まで ～違反事例と罰則・実務・資源循環～</p> <p>【B】2020年以降どうなる? 廃棄物減少時代の事業展望 ～マネジメント・労務ラブル～</p>	<p>9月12日(木)開催</p> <p>【C】廃プラの輸出規制と処理のこれから ～国内回帰と回収リサイクルの在り方～</p> <p>【D】新時代の金属リサイクル ～雑品・太陽光パネル・電池～</p>	<p>9月13日(金)開催</p> <p>【E】持続可能な木質バイオマス発電事業 ～小規模熱電併給から焼却灰のリサイクルまで～</p> <p>【F】多様な価値生む“バイオガス化事業” ～最新動向から今後の展望まで～</p>
--	---	--

参加者氏名(フリガナ)	部署名	お役職	セミナー番号	セミナー番号	セミナー番号

合計金額	円	● 1セミナー お一人10,000円(資料代・税込)
振込者名		事前申込締切日2019年9月4日(水)15:00(定員になり次第締め切らせていただきます)
振込締切日 2019年9月4日(水)		【特典割引】
振込予定日 2019年 月 日		★8月28日(水)までの早期申込みなら1セミナー8,000円になります。
		★お一人で2セミナー以上の複数申込、あるいは1社2名以上お申込みの場合は事前申込の期間中、お一人様1セミナー8,000円になります。(※ただし同時の申込に限る)

- お申込みの流れ
- ①参加申込書を必要事項記入の上、事務局へFAX
 - ②受理後、請求書をお申込者へ郵送(※請求書は、1週間以内に発送します。お急ぎの方はご連絡下さい。)
 - ③参加費を指定の口座へ振込(※原則として事前支払い)
 - ④開催1週間前、事務局より参加者へ「聴講券」を郵送でお送りします。
- 参加費振込先
- 銀行振込先:みずほ銀行船場支店(普通預金) 店番号:513 口座番号:2190114
 振込先名義:日報環境セミナー
- お願いその1 締切日間近は大変混雑いたしますのでなるべくお早めにお振込をお願いします。
 お願いその2 銀行振込の控えを領収書としてください。振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。
- *参加人数が3名様以上の場合は、恐れ入りますが用紙をコピーしてください。定員になり次第締め切らせていただきます。
 *本セミナーにお申込みいただいた方の個人情報は、無断で第三者に提供されることはありません。また、弊社のセミナー開催等についてのご案内をさせていただくことがございます。
 *お申込みのお取消しについて
 セミナー事務局にて9月6日(金)まで承ります。以降の申込み分やお申し出は原則として対応しておりません。お取消しをいただきましても返金はいたしかねますので、ご了承ください。
- お問合せ